



【理念】昨日を反省し 今日を考え 明日に備える

【基本方針】

1. 私達は、患者様の人権と意思を尊重し納得と同意に基づく患者様本位の医療を心がけます
2. 私達は、地域住民の皆様様の健康維持増進に寄与し、安全で信頼を得る医療を実行します
3. 私達は、日々研鑽し働きがいのある職場をつくり良質で高度の医療を目指し努力します
4. 私達は、当院における診療機能を積極的に広報し、地域の医療機関、高齢者・福祉施設との連携を推進致します
5. 私達は、院内情報を共有し、健全で安定した運営を 継続するため努力します



心臓リハビリのご案内

Topic

- ・心臓リハビリへの想い
- ・心臓リハビリチームについて
- ・ホームページリニューアル
- ・病棟の紹介
- ・循環器Dr,紹介





心臓リハビリへの想い



心疾患は単独臓器では死亡原因の1位であり、桐生みどり地区においても、今後の増加が予想されています。心疾患に対する質の高い診療を、地域に根差して行うことが大切であると感じています。心筋梗塞や狭心症では、急性期治療後の厳格な2次予防や再発時の迅速な対応が重要であり、近くで細かく診療することが大切であると考えます。また、重症や高齢者の慢性心不全では、どうしても入退院を繰り返す為に、地域での診療が患者さんにとって望ましいと考えます。心臓リハビリチームも活発に活動をしており、心疾患への運動リハビリ、2次予防の強化や生活習慣の改善、心不全増悪因子への介入、末期心不全の方に対する心理的サポートなども行っております。心臓リハビリチームとして、一人ひとりに寄り添った個別のリハビリを目指しています。

心臓リハビリチームについて



当院の心臓リハビリチームでは、看護師を中心として多職種が連携し、一人ひとりの患者さんにオーダーメイドのリハビリを行っています。各職種の役割をご紹介します。

病棟看護師の役割

循環器病棟スタッフの役割として、狭心症や心筋梗塞の治療後、心不全で治療中の患者さんに対し、チームメンバー12名で心臓リハビリを中心とした介入を行っています。治療の状況、患者さんの症状に合わせ医師の指示にて負荷心電図を行い、症状や波形の変化に応じたADL拡大や運動量(MET)を増やししながら心臓リハビリを進めています。また、再発防止のため、心不全手帳と病棟で作成したパンフレットを元に退院を見据えた生活指導をしています。薬剤師や栄養士と連携し情報共有を行いながら個別に患者さんに合わせた指導を行っています。

理学療法士の役割

運動という目線から患者さまの日常生活能力や生命予後を考え、退院後も元気に生活を送れる能力の獲得を目指すためのリハビリテーションを行っています。理学療法士は身体機能面から、患者さま一人ひとりに合った評価・治療をし、多職種間で密に情報共有を行うことで、より質の高い包括的リハビリテーションを目指しています。具体的な運動は有酸素運動(散歩や自転車エルゴメーター)、レジスタンストレーニング(主に筋トレ)となります。患者さまの自覚症状やバイタル変化(血圧や脈拍)に注意しながら実施しています。

臨床検査技師の役割

心筋梗塞や心不全で入院している患者さんがより安全で効果の高い運動リハビリを行うために、リハビリ前の歩行負荷試験を行ったり、運動処方を作成する心肺運動負荷試験(CPX)を行っています。血液検査や心電図検査、CPXなどの一連の検査で信頼性のある正確なデータを精度良く提供し、臨床からの要求に応えるスキルを備えること、何より検査を安全に遂行することを心がけています。検査の理解と協力を得られることで最適な運動処方を提供でき、それに伴う自己効力感を得ることで患者さまのモチベーションの維持・向上に役立ちたいと考えています。

薬剤師の役割

心臓の薬は「ここに効いている！」という実感が得られにくいものが多いですが、病気の再発防止のためには調子が良くてもお薬をきちんと飲み続けることが大切です。私たち薬剤師は、患者さんが薬物治療に対して理解を深めきちんと薬の服用を継続できるように、薬効や服用意義、お薬を飲み忘れないような工夫についての説明を行なっています。また、多種類の薬を服用している場合は相互作用や副作用発現がないかを確認し、安全に薬物治療が行えるように努めています。

管理栄養士の役割

心疾患の患者さんに対して管理栄養士は栄養指導として関わります。その内容は大きく分けて食事バランスと減塩の2つです。まず食事バランスは、1食に主食（ご飯、パン、麺類などの炭水化物）、主菜（肉、魚、大豆製品、卵などの蛋白質）、副菜（野菜）の3つを摂取することを指導します。次に減塩です。減塩は血圧管理のため、心疾患の患者さんにとって大変重要といわれています。普段何気なく使っている醤油や味噌などの調味料や、香辛料、お酢の使用についての指導を行います。

病棟の紹介

東5階 一般病棟（急性期）



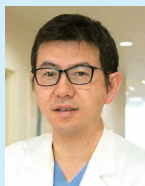
東5階一般病棟では、循環器の病期としての急性期ではなくとも重症度の高い患者が対象となる場合があります。症状が安定するまで集中的に専門の高度医療とリハビリを行っています。

南3階 回復期リハビリテーション病棟（亜急性期）



急性心筋梗塞、狭心症発作その他急性発症した心大血管疾患や手術後で入院でき、急性期から一貫して心臓疾患リハビリテーションを継続できる体制を整え、在宅復帰を進めることを行います。

循環器 Dr 紹介



院長
こまい たいち
駒井 太一

【プロフィール】

カルフォルニア大学バークレー校数学科を卒業後、東海大学医学部卒業。東海大学医学部附属病院、東海大学八王子病院に勤務し、平成27年4月に当院入職。平成30年当院理事長に就任。

【資格認定】

日本循環器学会専門医
日本心血管インターベンション治療学会認定医
日本内科学会総合内科専門医・認定医



循環器内科部長
いいじま たかふみ
飯島 貴史

【プロフィール】

群馬大学医学部卒業。群馬大学医学部附属病院、深谷赤十字病院、高崎総合医療センターにて勤務し、群馬大学大学院を卒業。平成28年4月に当院へ入職。

【資格認定】

医学博士
日本循環器学会専門医
日本内科学会認定医



循環器内科部長
さの ひろかず
佐野 宏和

【プロフィール】

埼玉県出身。平成17年群馬大学医学部を卒業。初期研修後に同大学循環器内科へ入局。深谷赤十字病院、伊勢崎市民病院、群馬大学医学部附属病院での勤務を経て、平成28年4月より当院勤務。

【資格認定】

日本循環器学会専門医
医学博士
日本心血管インターベンション治療学会認定医
日本内科学会認定医



循環器内科部長
うめやま あつし
梅山 敦

【プロフィール】

群馬大学医学部卒業。公立藤岡総合病院にて臨床研修後、高崎総合医療センター、伊勢崎市民病院、群馬大学医学部附属病院に勤務し、平成31年より当院勤務。

【資格認定】

日本循環器学会専門医
日本心血管インターベンション治療学会認定医
日本内科学会総合内科専門医・認定医
臨床研修指導医

NEW

ホームページをリニューアルしました

病院サイト、地域連携サイト、リクルートサイトをそれぞれ作成し、利用される方が求める情報へ素早く簡単にアクセスしやすくなりました。

地域連携サイトは医療関係者向けに特化して作成し、スムーズに連携できるようご案内しています。



診療案内 information

受付時間 一般外来 午前 8:30~11:30
専門外来 午後 2:00~4:00 (予約制)

休日 日曜・祝日・年末年始
第2・第4土曜日 / 第1・第3・第5土曜日の午後

外来担当表 診療日カレンダー

初めて受診される方 再診される方 入院、面会される方
手術をされる方 連絡される方 医療相談されたい方

ここが便利

地域連携サイト



紹介受診について

- 外来受診のご予約
- 医療機器共同利用のご予約

紹介受診について

東邦病院では、地域の医療機関等との連携を図るため、紹介状による受診と逆紹介による受診を推進し、地域のみなさまに最適な医療サービスを提供できる体制づくりを行っております。

患者さんをご紹介いただく先生方へ

当院ではご紹介いただく患者さんの予約サービスを行っております。事前に連携担当までご連絡いただけますと、診察や検査のご予約が可能です。患者さんの待ち時間短縮にもつながりますので、ぜひご利用ください。

外来受診のご予約

お電話、もしくはFAX用診療依頼書をFAXいただければご予約いただけます。

外来担当医師表

- 診療のご予約FAX用 診療依頼書
- 診療のご予約FAX用 診療依頼書

ここがポイント!!

診療依頼書をダウンロードしてご利用いただけます。
※より便利にと、ExcelとPDFが
お選びいただけます。

入院・転院相談について

ここがポイント!!

入院・転院相談の流れを分かりやすくチャートでご案内しています。また、レスパイト入院の案内も掲載しました。

入院までの流れ



新キャラデビュー!

ひなたくんです



ホームページリニューアルに伴い、看護部に新たなキャラクターが加わりました。名前は「ひなたくん」です。よろしくお願いします。



地域連携ホームページ

東邦病院 地域連携 検索



ぜひご覧ください!

URL : <https://www.toho-hp.jp/renkei/>